

令和4年度 第1回米子市地域公共交通会議 議事録（概要）

- 1 開催日時 令和4年5月12日（木） 午後2時から
- 2 開催場所 米子市立図書館2階 多目的研修室
- 3 出席者（敬称略）
委員：加藤委員、竹本委員、奥田委員、濱邊委員、建部委員、野川委員、植弘委員、野間委員、野坂委員（代理：長谷川氏）、澤委員、遠藤委員、船越委員、塚田委員、川本委員

事務局：八幡総合政策部長、倉本交通政策課長、石上係長、山内主任

4 日 程

- 1 開 会
 - 2 委員紹介
 - 3 会長あいさつ
 - 4 協議事項
(1) 地域公共交通計画について
(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について
(3) その他
 - 5 報告事項
(1) 令和3年度だんだんバス・どんぐりコロコロの運行実績
(2) 令和3年度路線バスの運行実績
(3) 令和3年度米子市循環バス実証運行の経過報告
 - 6 その他
 - 7 閉 会
- ### 5 議事録概要

（会長）

日程4（1）地域公共交通計画について事務局から説明をお願いします。

（事務局）

～地域公共交通計画について説明～

（会長）

ありがとうございました。事務局から説明がありましたように、地域公共交通計画の策定に伴う法定協議会化、設置要綱の補強、委員の追加、事業計画として予算を伴う業務等を説明してもらいました。何か質問などございますか。

(委員)

事業計画案について、3の利用実績の中で、市民3,000人を対象としたアンケート調査及び自治会へのヒアリングはどのような形でされるのか。

(事務局)

市民アンケートについては、無作為に抽出した3,000人に返信用封筒を入れて郵送する予定です。民間事業者等のヒアリングにつきましては、こちらから訪問したり、色々な手法で、ふさわしい手法で行っていきます。自治会へのヒアリングにつきましては、やり方等について会長に相談させていただいたうえで実施したいと思います。

(委員)

事前に相談してもらわないと、自治会は協力できないと思います。直近の自治連合会長は、5月23日になり、次は7月になります。遅れないように対応をお願いします。

(会長)

ありがとうございます。市と自治連合会で連携して、一定のデータとか、意見が収集できるようにお願いします。その他いかがでしょうか。

(委員)

アドバイザーとあるのは、どなたですか。

(事務局)

本市では、3年前から名古屋大学の加藤先生に交通に関するアドバイス契約を結んでおり、今年度も引き続き、対応していただけることになりましたので、そのアドバイスで計画を策定するということです。

(委員)

よく分かりました。

(会長)

その他いかがでしょうか。

(委員)

2点ありまして、アンケートの実施期間と、事業計画の中で、民間事業者への聞き取りや乗降調査のデータ分析の方法について、教えてください。

(事務局)

アンケートの送付は、6月上旬に送付して、7月には回収しますが、まだアンケート内容が決まっていないので、若干送れる可能性があります。データの解析につきましては、コロナ前にバス事業者からもらった乗降調査データを個別に公表しないという前提でいただきましたデータの解析を中心に行っていきたいと思います。

(会長)

よろしくお願ひいたします。アンケートの内容は、実施される前に委員に提示する予定はありますか。

(事務局)

資料提供したいと思っております。

(会長)

委員からもこんなことをしたらいいのではないかな等、資料提供の際に何かご意見をいただければと思います。

事務局から説明がありましたが、米子市公共交通ビジョンを色々と肉付け等して策定するということですが、今ビジョンをみていましたら、上位計画の米子市総合計画も米子市まちづくりビジョンというのも新しくできておりますし、立地適正化計画なども策定中で、ウォークアブルシティにも取り組んでおりますので、公共交通も連携したりして、実現していただければと思います。

そうしますと、公共交通計画の策定に伴う設置要綱の改正案や事業計画案等について、委員の承認をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(会長)

承認をいただきましたので、策定に着手していただければと思います。

そうしますと、協議事項2の地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について説明～

(会長)

ありがとうございました。例年、この時期に審議し、承認していただいて、提出しているもの

ですが、大山線と福万線の実績がでておりまして、大山線は目標値を達成しておらず、福万線は達成しているようです。何かご質問とかご意見ございますか。

(会長)

13ページのフレイル教室でのバス割引券の配布について、もう少し具体的に説明をお願いします。また、15ページの令和3年度からグランド70交付者対象のアンケートをしているということで、令和3年度は、どのような利用があったとか傾向があったとか教えてください。

(事務局)

フレイル教室での配付についてですが、健康対策課で実施しているフレイル教室でバスの利用促進及び高齢者の外出支援を目的として配っています。令和3年度の実績は、文化ホールや公会堂等での配付数を含めて1,380枚配付し、そのうち利用枚数は436枚でした。今年度も引き続き、イベントやフレイル教室で配付する予定です。グランド70の利用者アンケートですが、本質は、アンケートというよりは、フレイルの度合いチェックリストであります。こちらはまだ集計はできておりませんが、バスに乗る人は、乗らない人より元気ではないかと思っていたのですが、途中経過をみてみますと、逆でして、実は、フレイル度は高く、よく考えると、定期券を買っているほとんどの人は免許返納をした方が8割なので、自家用車を運転できないくらい弱っている方が使っているということで、フレイル度は高くなっています。少し見込み違いのところはありましたが、データをまとめて後日、報告いたします。

自由記述のところには、バスの定期券を買って便利になったとか、行動範囲が広がった等の肯定的な意見が多く、否定的な意見は、もう少し安くならないかという意見がありました。

(会長)

ありがとうございました。まとめましたら、今年度の公共交通計画の策定のデータ等にも活用していただき、情報共有していただければと思います。

そうしましたら、この地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について、異議等ございますか。

(異議なし)

(会長)

それでは、承認をいただきました。引き続き、申請を進めていただければと思います。続きまして、(3)その他について事務局からございますか。

(事務局)

～Y-MaaS実証実験事業の書面審査について説明～

(会長)

ありがとうございました。1月から始まって3月末までの予定を6月末まで延長し、子ども料金の設定等、少しずつ手を加えているのですが、コロナ禍ということもあり、なかなか観光需要が戻ってきていないこともますので、延長してデータを収集したり、活かしていこうというものです。今回は間に合わなかったため、書面にて審議するというので、その際はよろしく願いいたします。ぜひ委員のみなさんも使っていただいて、意見や感想を教えてください。

そうしますと、協議事項は以上となりまして、以降は報告事項に移ります。前年度の各種公共交通の実績報告になりますけども、報告事項(1)令和3年度だんだんバス・どんぐりコロコロの運行実績についてと報告事項(2)令和3年度路線バスの運行実績についてを続けて説明をお願いします。

(事務局)

～令和3年度だんだんバス・どんぐりコロコロの運行実績について説明～

～令和3年度路線バスの運行実績について説明～

(会長)

ありがとうございました。バスの運行実績について、委員のみなさんから質問や意見はありますか。

(委員)

どんぐりコロコロのルートが変更になったと思いますが、その利用実態というのはわかりますか。何のために変更したのか把握していないと意味がないと思います。

(事務局)

4月1日から新たなルートで運行しておりまして、実績については、まだ調査を行っておりませんが、人の移動が活発になる頃、5月以降からしたいと考えておりました。定期的に調査をしまして、利用状況を把握したいと思います。また、実績ができましたら、ご報告します。

(会長)

調査して実績等、検証して報告していただければと思います。だんだんバスについては、新たに2コースできていますが、だんだんコースから試験運行コースに移られたという面もありますか。

(事務局)

実証運行が始まったのは冬場で、利用が少ない時期にはなりますが、アンケートでは、12月以降から新コースを使っていると回答している方もいました。

(会長)

ありがとうございます。トータルとして、利用者が増えていけば、いいかなと思います。そうしますと、実績ということで情報提供して、共有するということですので、またお気づきの点がありましたら、事務局に言っていただければと思います。資料7, 8のところの右側のあと何人乗れば採算が合うかという数値も示されていますので、沿線の地域とかみなさんで、利用促進につなげていただければと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、(3) 米子市循環バス実証運行の経過報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～米子市循環バス実証運行の経過報告について説明～

(会長)

ありがとうございました。昨年12月から実証運行が始まって、4か月分報告がありました。先ほど、だんだんコースの運行実績も報告されていまして、こちらのほうは、令和3年度の12月以降の利用に比べると、少ないかなと思いますけども、空白地を埋めたりだとか、まちなかの移動の利便性を高める等一定の効果はあると思いますが、まだ、十分にデータがとれていないとのことでした。委員のみなさんから質問等ございますか。

(会長)

利用者が乗り間違えたり、複数のルートが走っているので、バスも実証運行中なので色分けしているわけではないので、分かりにくいとかそういった声はありますか。もう一つは、年度末まで実証運行されるということですが、期間がありますので、年度途中で様子がみえてきて、ルートを変えたり、2ルートを1ルートにしてみるとか、変更はありえるのかどうか教えてください。

(事務局)

乗り間違えたという意見は、ありませんでしたが、降りる所を間違えてしまったという意見はありました。あとは、2コース連続で走るような路線はありませんので、少し分かりにくいという意見もありました。

ルート変更について、バス事業者や地域の意見も考慮して、最適なルートにしたいと思います。まだ決まっているわけではありませんが、変更する際には、委員のみなさんのご意見もお伺いできればと思っています。

(会長)

30ページに乗降調査の結果が載っていますが、実際に市の職員が乗って調査をしているということですが、アンケートはその時に配っているのですか。

(事務局)

乗降調査の時に配付したり、車内にアンケートを設置し、随時アンケートを集めています。

(会長)

3,000人程度の利用で86人の回答は、少ないと思いますので、もう少し何か声を集めたり、利用状況を集めたり、できたらいいのかなと思います。あとは、どの便にどれだけの方が乗っているか、時間帯別のデータ等もあればいい検討材料になるのかなと思います。いろんなデータを集めていただいて、目的としては、路線バスの相乗効果をだしたりとか、市街地の活性化につなげるようなものですので、委員からもどんぐりコロコロで質問があったように、目的に対して、ちゃんとかなっているか検証できるようにしていただければと思います。他にはご質問等がありますか。実際に使ってみてどうだったとかそういった意見でもよろしいです。

(委員)

実際に歴史コースに乗ってみました。錦町一丁目から米子駅まで乗り、だんだんバスは駅まで行くのに150円でした。次に、錦町三丁目から米子駅に行く空港連絡バスに乗ってみると、200円かかりました。だんだんバスのほうが安かったです。やはり、色々乗ってみたいと分からないし、イオンまで行くためにイオンと書いてあるバスに乗ったら、伯耆大山駅まで行きました。私は、皆生を通過してイオンに行くバスだと思って乗りましたが、伯耆大山駅でしばらく停車してから利用者が乗ってきて、イオンに行きました。公会堂から乗りましたが、よく見て乗らないとすごく時間がかかります。勉強になりました。

(会長)

乗ってみられてどうでしたか。公共交通はいいものだと思われましたか。

(委員)

はい、思いました。普段通らないところを見ながら行きましたので。友人も誘ってみようかなと思いました。

(会長)

ありがとうございました。ぜひ利用してみたいと、色々体験していただいて、先ほどのわいわいパスを使うと、乗り放題です。

(委員)

コロナ禍ですので、データは今後大きく変わってくる可能性はあると思います。来年の3月までされるということですので、そのあたりも見られて、よく乗る時期とかよくみていた

だいて、データをとっていただければと思います。人はGWぐらいから動き出したので、そういうことも考慮されたいと思います。私としては、30ページの70代が一番多くて、80代、90代の利用の多さに驚きました。逆に若い方も結構乗っているんだなと思いました。

(会長)

時期なども勘案して検討する必要があるということでした。また新たな切り口で分析していただいたり、こんな観点から分析したらいいんじゃないかとか、アドバイスしていただけたらと思います。ぜひ委員のみなさんに利用していただいて、感想をいただければと思います。そうしましたら、報告事項は以上ということにさせていただきます。

次に、その他に移りたいと思いますが、事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

特にありません。

(会長)

分かりました。この地域公共交通会議は、バスの話が中心となるのですが、地域公共交通計画のなかには、JRやタクシーとかも含まれますので、もしよろしければ、JRやタクシーの状況とかご意見をいただければと思います。

(委員)

2年前と比較して4割り程度減少しています。もちろん収入もなく、車両も止めて、雇用調整助成金をもらい、資金をまわして、倒産しないようにしているのが今の現状です。鳥取県は1社も倒産していない。他県では、タクシー会社が倒産していないところがないぐらい厳しい状況にある。その中で、一番心配しているのは、運転手が次々と退職していることです。米子だけでもこの2年間で60人ぐらいやめているので、2割以上減っているということです。タクシーは、高齢になればなるほど需要は増えていきます。引き継ぎ、利用をお願いいたします。

(会長)

タクシーについて現状を説明していただきました。積極的なタクシーの利用をお願いしたいということでしたので、ぜひ活用していきたいと思います。JRさんから説明をお願いします。

(委員)

コロナの影響で出張の機会やインバウンドがほぼ全減というところで、報道のとおり厳しい状況です。GWは中長距離ともに去年よりはよかったですのですが、GWはコロナ前と比べると7割程度の利用で、まだまだ頑張っていないといけないと思っています。今日の会議でバスの状況

等を説明していただき、バスも平均をみると少なかったり、弊社も通勤通学の時間帯は多いけれども、昼間の時間帯は少ない状況で、鉄道は鉄道、バスはバスとか各社で考えるのではなくて、地域全体で、利用者は便利になり、交通事業者にとっても持続的な運行していけるというようなものを考えていかないといけないなと思っています。今年のダイヤ改正でかなりダイヤを削減したことで、利用者にはご迷惑をおかけしておりますが、コロナ禍を契機として、今後こういった形で地域の公共交通を維持していくか、発展させていくかといった議論にもなっていると思いますので、そういった観点でもみなさんの意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。JRの状況について説明していただきました。バス含めてトータルで考えていき、昼間の時間帯も利用していきたいと思います。その他の委員のみなさんから一言ずついただければと思います。

(委員)

警察としましては、高齢者の免許人口が増えていまして、交通事故の件数自体は減少しているのですが、高齢者が車に乗っていて加害者になったり、歩いていて、被害者になったり、というような事故は増加傾向です。市内だけでなく、鳥取県内がそういう状況です。また、昨年も高齢者の死亡事故に占める割合が高い状況です。警察としましては、免許の返納は、かなり外出機会が減ってしまう事につながってしまうかもしれませんが、便利な公共交通があれば、外出することができるのかなと思うところがありますので、ぜひ、公共交通を市民のみなさんに利用してほしいという同様の気持ちがありますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。交通ビジョンや公共交通計画の中にも、交通安全等の警察の観点も入れていただきたいなと思います。他の委員からも意見を聞きたいと思います。

(委員)

今回の会議までにどんぐりコロコロバスに乗ろうと思い、実際に乗ってみました。私以外誰も乗っていませんでした。見るものも特になくて、岡成で降りました。どんぐりコロコロはどうかと知人に聞いてみると、バスはいいけど、岡成のバス停まで部落から歩いてくる時に階段を上らないといけないので、危ないそうなんです。バス停のある道は良いのですが、下から上っていくには、バランス崩すと危ないなと思いました。バス停の位置は自治会で決めないといけんなあと個人的に思いました。今度は、もう少し、岡成の奥のほうに入ってもらいたいという意見もありました。米子駅からだんだんバスにも乗ってみましたけど、こちら利用者が少なく、運転手さんが気の毒だと思いました。

(会長)

ありがとうございます。バス停については、改善ができればしていただくと利用促進になるかと思えます。

(委員)

知人が、わいわいパスのことを非常に使いにくかったと言っていました。ぜひ試してみないといけないと思っていましたが、今日までに試してなくて。若い人だと簡単にできることでも高齢者には結構難しいことがあると思っています。10年前は車に乗らずにバスに乗っていましたが、本当に利用者が少なくて、自分一人ということもあったので、こんなに補助金が使われているんだと知って、もう少し使う人が増えればいいのにと思いました。どんな風にしたら乗る人が増えるのか分かりませんが、バスに乗っていた時は、家からバス停まで800m以上あり、私はそのバス停しかないの、当然だと思っていたんですけど、やはり800mぐらいあると、もう少し年をとったらしんどいなと思えました。

(会長)

ありがとうございます。わいわいパスは高齢者には難しいんじゃないのかというご意見でした。米子市は比較的バス停が近くにあるのですが、離れているところもありますので、デマンドとかタクシーとかで市民にとってももっと使いやすい公共交通になるように、地域公共交通計画に入れていけたらと思えます。

(委員)

わいわいパスについてですが、事業が始まった最初の頃はQRコードの印刷を失敗しておりまして、上質紙で印刷していたのですが、光が反射して実際は読めないということが分かり、現在は、紙を変えて読み込めるようになっていきますので、利用しやすくなっていきます。

(会長)

ありがとうございました。

(委員)

実証運行について思うことですが、米子市中心部を運行しているバスになっていますが、空白地帯に路線があるほうがいいと思う。米子市中心部だけでなくもう少し離れているところに路線をつくることも考えてみられたらいいのではないかと思います。

あと、実証運行について、ルート見直しも検討されているということでしたが、運転手目線からすると、まちなかコースの時間が足りないように思います。あと5分でもあるといいのかなと思います。運転手目線からも考えていただければと思います。

また、大学病院に入るところの信号ですが、大学病院からなかなか右折できず、出れない。右

折信号もないので、そのあたりも配慮してほしいです。

(会長)

ありがとうございました。運転手からの観点で意見をお聞きしました。今年度、計画策定に向かっていきますし、色々な施策も進めていかれるということですので、引き続き、みなさんのご協力をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして、令和4年度第1回米子市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。